



第3期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

方針1 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

方針3 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

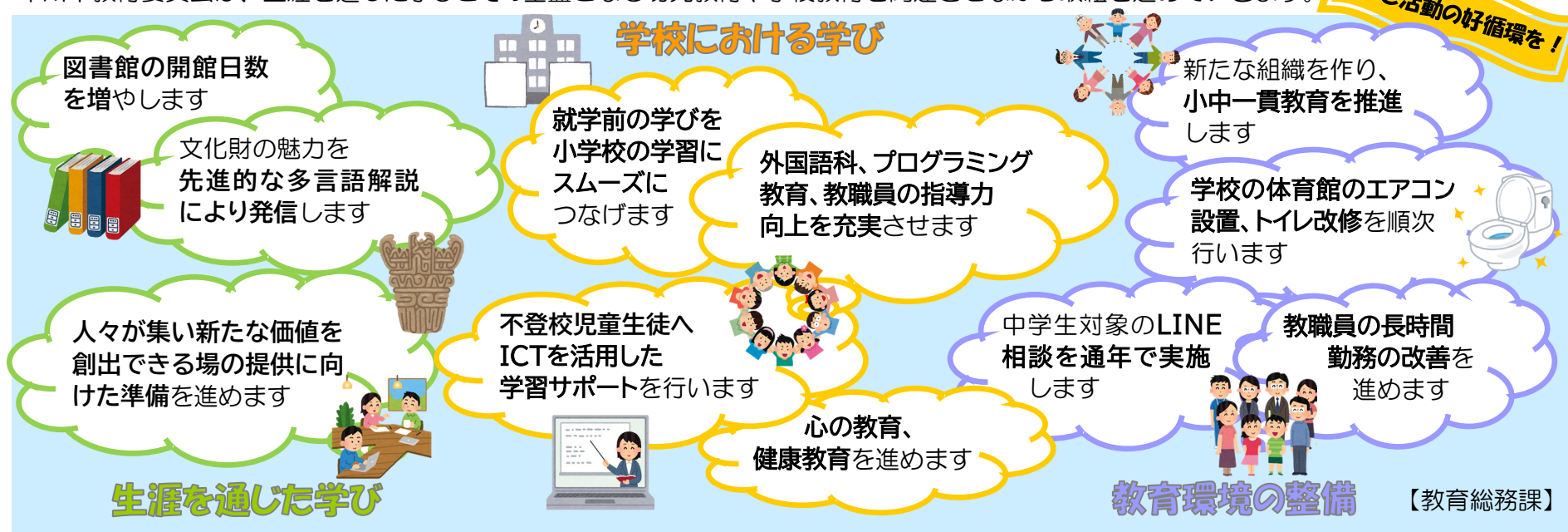
■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

令和2年度教育行政運営方針

～新年度の重要な取組の一部を紹介します～

令和2年2月市川市議会定例会において、田中教育長が令和2年度の教育行政の運営方針や重要施策について説明を行いました。皆さんが自身の学んだことを地域づくりに活用することや、地域が一体となって子供の育ちを支えることができるよう、市川市教育委員会は、生涯を通じた学びとその基盤となる幼児教育や学校教育を関連させながら取組を進めていきます。



4月から始まります！ 小学校新学習指導要領(全面実施)

学校で学んだことが、「生きる力」となって、その先の人生につながってほしい。

学校で学んだことを生かして、自分の道を切り拓いていく力を養ってほしい。

新学習指導要領に込められた思い



学校だけでなく、家庭や地域の方々にも、一緒に学ぶ輪に加わってほしい。

何が変わる？！

- ・「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」も重視します。それに伴い、学習評価の観点や方法も変わります。
- ・小学校の外国語教育やプログラミング教育などの新たな取組や、道徳教育のさらなる充実を図る取組が追加されます。
- ・教科書や時間割が変わります。など

「学習指導要領」とは、全国どここの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。

新学習指導要領に込められた思いを学校・家庭・地域の方々と共有し、一体となって子供たちの学びを支えていくことで、これからも子供たちの「生きる力」の育成を目指し、取り組んでいきます。 【指導課】

中学校新学習指導要領は、令和3年度から全面実施されます。

～学校と学校をつなぐ～

学校種を超えた連携の取組を紹介します！

教育委員会では、平成27年度から、学校種の異なる研究指定校（中学校3校）と連携校（県立高校3校）が様々な形の連携を実践し、その成果を市内各校に広げる「市川版中高一貫教育推進事業」を行っています。これまでの実践の一部を紹介します。

第一中学校 ⇄ 国府台高等学校

「学力向上」ビブリオバトル（委員会活動）



第八中学校 ⇄ 市川工業高等学校

「キャリア教育」インテリア科の体験授業

高谷中学校 ⇄ 市川南高等学校

「人間力の育成」
高校生参加による中学道徳授業



様々な学校種の合同研修

昨年度からは中高の連携にとどまらず、幼・小・中・高・特別支援学校の学校種、さらには国公立・私立といった設置者の枠を超えた「学校間連携推進」の取組がスタートしました。様々な学校種の担当職員が学校間連携の課題や可能性について話し合い、共に学べる研修会を行うなどしています。 【指導課】

教育功労者表彰

～市川の教育に貢献～

教育功労者の表彰は、教育や学術、文化の振興などに関し、特に功績が顕著であった個人や団体を表彰するものです。受賞された皆様、おめでとうございます。

【教育総務課・教育センター】



千葉県教育功労者（学校教育の部）
（個人の部）川元 洋 市川小学校 校長
（団体の部）塩浜学園

市川市教育委員会教育功労者

石 塚 浩	真間小学校 校長
永 田 博 彦	第四中学校 校長
高 橋 祐 介	第六中学校 校長
田 中 康 介	須和田の丘支援学校 教頭
落 合 隆	信篤小学校 教諭
大 野 正 巳	鶴指小学校 教諭
坂 東 寿 裕	第四中学校 教諭
久 田 堯 夫	元第二中学校他 学校医
小 山 秀 康	富美浜小学校他 学校医
佐々川 毅	国分小学校他 学校歯科医
伊 藤 真由美	第二中学校他 学校薬剤師

※敬称略



アラビアの音楽に合わせて、ステージ
いっぱいに旗を振りました。

（土）に行徳文化ホールⅠ＆Ⅱで、学校生活の中で積み重ねてきた学習の成果を、広く多くの方々に発表しました。

ダンスや歌、楽器演奏、劇、縄跳び、マット運動、オリンピック・パラリンピックにからめた発表など、多彩な内容で、見ごたえあるものばかりでした。ステージ上では、子供たち同士で場所を確認し合う姿が見られたほか、英語のセリフを取り入れた劇や、躍動感あふれるダンスなど、一人一人の個性が生かされた演出に心が温まり、時間がたつのを忘れるほどでした。会場では、思わず微笑んだり、自然に手拍子ができたりするなど、感動に包まれるなか、子供たちの演技に盛大な拍手が送られました。

【指導課】

合同学習発表会

市川市内にある27校の小・中学校特別支援学級（知的障がい）の児童生徒による合同学習発表会が開催されました。北部地区の学校は11月30日（土）に市川市文化会館大ホールで、南部地区の学校は12月7日

美術での学習を生かし、だまし絵や隠し絵の紹介をしました。

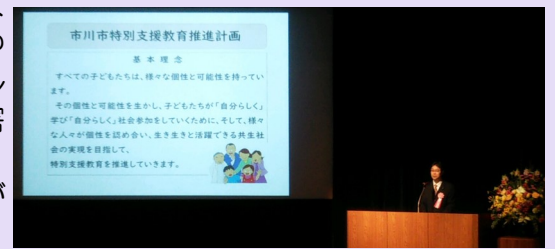


特別支援教育振興大会

「第24回市川市特別支援教育振興大会」が1月30日（木）、市川市文化会館小ホールにて開催されました。本大会は、特別支援教育について理解を深め、共生社会の実現を

目指して、2年に1回開催されています。特別支援教育の取組についての基調報告の後には、須和田の丘支援学校中学部の皆さんによる合唱奏「糸」の発表があり、その力強い音や言葉一つ一つに会場の方々は聞き入っていました。言語聴覚士の村上由美氏による「発達障害の人が快適に暮らすために」の記念講演では、周囲の人の理解が何よりも大切であることが心に響きました。

【指導課】



教育委員交流会

教育委員会では、教育委員が学校の現状、児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握し、市川の教育政策等に反映させていくために、児童生徒や教職員との交流会を行っています。今年度は11月から2月にかけて15校で実施しました。

【教育総務課・教育センター】

八幡小 11/13 平田史郎委員と山元委員が訪問。出会う子供たちは皆、大きな声で「こんにちは！」とあいさつをしてくれました。5年生の授業を参観した後、給食交流。今、自分が頑張っていることなどを話題に、有意義な懇談の時間を過ごしました。

稲荷木小 11/22 平田史郎委員と山元委員が訪問し、6年1組で行われたビブリオバトルを参観しました。委員からは「いい本との出会いは人生の宝物になります。人との出会いと同じように本との出会いを大切にしてください。」とのお話がありました。

東国分中 11/26 平田史郎委員と山元委員が特別支援学級の生徒と交流し、合同学習発表会に向けての練習の様子を参観しました。委員からは「勉強してきたトリックアートの面白さを皆に伝えてください。本番を楽しみにしています。」との激励がありました。

若宮小 11/27 1年生の生活科の授業を参観しました。「秋の宝物」をテーマに、ドングリやまつぼっくり、落ち葉を使って、飾りやお面、けん玉などを作っていました。平田信江委員は「きれいにできたね。」「秋を感じるね。」と声をかけていました。

塩浜学園 11/5 5～7年生の授業を参観し、その後、5年生と給食を食べながら学校生活のことを話しました。山元委員からは「素直な子供たちですね。義務教育学校ならではの取組に、今後も期待します。」と、来年度に新校舎へ移る学校へのエールがありました。

行徳小 11/11 田中教育長と平田信江委員が、6年生の合唱練習を参観。その後、児童の代表と給食交流を行いました。「皆で心を合わせ、より良い合唱をつくり上げようとする姿に感心しました。市内音楽祭が楽しみです。」と感想を児童に伝えました。



八幡小

行徳小



平田小 12/3 5年生の授業を参観し、給食交流をしました。授業では、パラリンピックを題材に、公平について考えました。平田史郎委員が「公平性について考えるのは難しいが、よく意見が出ていました。」と児童の発表に対しての感想を述べました。

菅野小 12/6 6年1組の調理実習を参観しました。メニューは班ごとに考えたそうです。試食した大高委員の「工夫したことはありますか？」との問いかけに、「旬の食材、そして栄養のバランスと色合いです。」と答えていました。美味しくいただきました。



給食の食べきりチャレンジ ～食品ロス削減～



環境省による「学校給食の実施に伴い発生する廃棄物の3R促進モデル事業」の一環として、学校給食の残菜を減らす「食べきりチャレンジ」に塩焼小・大柏小が取り組みました。

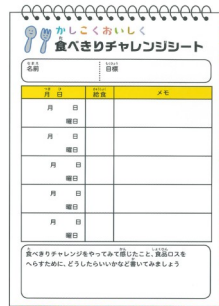
まず、市作成の映像教材「かしこくおいしく食べきりチャレンジ！」で食品ロスについて知り、次に、給食を残さず食べることが自分の健康と成長に役立ち、食品ロス削減にもつながることを学び

ました。そのうえで、各自が給食の完食に向けた目標を立て、食べきりチャレンジシートを使って取り組んでみました。給食の時間には、食べきりチャレンジを応援するために、市川市在住のミュージシャンJAGUARさんが作詞作曲してくれた「たいせつに食べてね!!」を放送で流しました。

取り組んだ学校から、一人一人の頑張りの結果、残菜量が減ったという報告が届いています。

食品ロスの取組については、給食だけではなく、ご家庭でもできることから始めていけると良いですね。

【保健体育課】



「地域学校協働活動」推進で 令和元年度 文部科学大臣表彰

塩浜学園
はまっこ・サポート
(地域学校協働本部)



文部科学省にて表彰式に参加

「ふるさとを愛し、自ら夢を持ち、心豊かでたくましく生きる塩浜っ子」

塩浜学園では、平成28年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を市川市で初めて導入し、研究を進めてきました。

「はまっこ・サポート(地域学校協働本部)」は、地域にある団体との

連携・協働を進めています。9年間を貫くカリキュラム「塩浜ふるさと防災科」の学習の中で、地域との関わりを多く持った活動が展開されています。また、地域活動を盛り上げるために児童生徒が地域で活躍する場を設けたり、地域人材が学校をサポートする取組を行ったり、地域のネットワークを生かし、開催方法を工夫した活動を展開している点が受賞につながりました。

令和2年度には、新校舎が完成します。新設される「地域ルーム」を活用し、地域と学校の連携・協働をより一層進めていきます。

【学校地域連携推進課】



田中教育長に受賞を報告

学校飼育管理指導



この事業は、市川浦安地域獣医師会の先生方によって行われる「特別授業」で、3つの指導内容から学校の実態や希望に合った授業が選択できます。一つ目は、人と飼育動物の関わりについて学ぶ中で、豊かな心を育む「心の教育」、二つ目は獣医師という職業について学ぶ「キャリア教育」、三つ目は学校で飼育されている動物の飼育方法を学ぶ「管理指導」です。職業観や命について考える大切な機会として、今後も本事業を実施していきます。

★子供たちの感想より★

動物の命から学ぶ ～心の教育～

一番心に残ったことは、「人間が動物の命を預かっている」という言葉です。

動物への接し方を学ぶ ～管理指導～

自分たちの世話の仕方が正しいとわかって嬉しかったです。

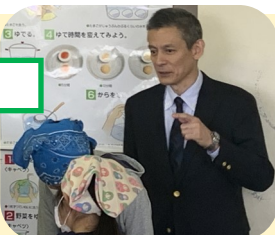


働く面白さを学ぶ ～キャリア教育～

獣医師さんは、人の心の支えになってくれている動物を助けて、人も動物も救ってくれることがわかりました。

【指導課】

菅野小



福栄中 12/18

1年1組の道徳の授業を参観し、その後、生徒と学校生活について話しながら給食を食べました。「授業では意見が多く出ていました。素朴で明るく、とても仲の良いクラスですね。」と平田信江委員から感想がありました。

大洲小 1/20

平田信江委員が訪問し、4～6年生が参加しているクラブ活動を参観しました。今年度からは、多くの地域の方にもご協力いただいていることをうかがい、「児童をみんなで育てたいという地域の方々の思いがありがたいです。」と感想がありました。

教育委員交流会訪問委員

田中 庸恵	教育長	松丸 多一	教育次長
平田 史郎	教育委員	平田 信江	教育委員
島田 由紀子	教育委員	大高 究	教育委員
山元 幸恵	教育委員		

第二中



第二中 1/10

大高委員と松丸教育次長が訪問。生徒会本部役員・部活動部長と懇談しました。「先輩から学んだことを、より良い形で後輩に伝えてください。」「自分と違うタイプの人と連携すると、自分も成長できます。」とメッセージを送りました。

富貴島小 1/29

平田信江委員と松丸教育次長が訪問し、4年2組の理科の授業を参観後、若年層の教員と懇談会を持ちました。「失敗もたくさんあると思いますが、自分の中だけにとどめておかず、共有して知識化してください。」との激励がありました。

大和田小 1/16

6年生の授業を参観しました。11月に行った職業体験での経験をもとに考えたことを図式化し、伝え合う活動をしました。教育長からは「伝え合い、自ら振り返ることで、自分の将来についてより深く考えられるようになります。」と感想がありました。

中山小 2/7

島田委員が中山小学校恒例の長縄大会を参観しました。終了後に6年3組を訪れ、「寒さを忘れさせる一生懸命に跳ぶ姿に感動しました。」「今日の達成感や成就感を忘れずに、中学に進学してからも、頑張ってください。」とエールを送りました。

鶴指小 2/14

大高委員と山元委員が1年生の「できるようになった発表会」を参観しました。一年間の学習成果の発表の一つ一つに温かな拍手を送り、「感動しました。嬉しくなりました。これからも勉強や運動を頑張ってください。」と励ましていました。



中山小

教育実践記録論文発表会・表彰式

2月7日(金)、教育実践記録論文表彰式・発表会が、グリーンスタジオで行われました。教育実践記録論文は、教育実践をまとめることが自己研鑽につながることを目的に、昭和54年に始まり、今年度で41回目を迎えます。



今年度は、合計15編の応募がありました。幅広い学校種・職種からの論文が集まり、1年間だけではなく、2～3年間の継続した実践の記録をまとめた論文もありました。

【教育センター】

<一般部門>

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
優良	八幡小	海老原梨紗	国語	一人一人の主体的な学びのために
優良	八幡小	山一裕紀子	特別活動	「あいさつNO.1の八幡小」を目指して
優良	東国分中	井上 菜美	特別支援教育	自閉症・情緒障がい特別支援学級での授業の工夫
努力	富貴島小	小笠 晃司	国語	主体的・対話的で深い学びを育む言語活動の探究
努力	鬼高小	川口麻衣子	学校図書館	図書館活用を通したどの子も書ける授業づくり
努力	第七中	亀井 優	学校図書館	主体的・対話的で深い学びに向けた授業の在り方を探る
努力	東国分中	所 拓弓貴	その他	自分の成長が実感できる若年層教員研修の実践
努力	教頭会教育計画部会		学校図書館	学校図書館の活用に向けた教頭の役割

<フレッシュ部門>(教員経験年数5年以下)

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
最優秀	須和田の丘	野口由紀子	特別支援教育 学校図書館	心を豊かにし、暮らしを広げる読書活動
優秀	若宮小	池田 優人	理科	主体的・対話的で深い学びを目指して
優秀	大和田小	内川 佳代	外国語	小学校英語の充実を目指した評価へのアプローチ
優良	真間小	川添 英樹	国語	主体的・対話的で深い学びをめざす国語科学習
優良	須和田の丘	山本 瑞稀	特別支援教育 外国語	特別支援学校における外国語活動
努力	行徳小	永山 雅大 眞下 諒 田邊 竜也	特別活動 地域連携	行徳小相撲部に輝きを取り戻すために
努力	稲荷木小	森 優之介	国語	読書で高める「国語力」と「人間力」

※敬称略

博物館で楽しく学ぼう 小学校6年生向け縄文体験学習

市川考古博物館では、小学校6年生を対象に「縄文体験学習」を実施しています。

堀之内貝塚のガイドツアーや摩擦式の火おこし体験など、縄文の暮らしを体験しながら学べる貴重な機会となっています。



新年度から、歴史学習の実施時期が変更になるため、一部内容を変更して実施することになりますが、今年もまた、みなさんに会えるのを楽しみにしています。



※学校団体向けの体験学習です。
個別の申込は受け付けておりません
のでご注意ください。

昔ながらの火おこしに挑戦中！
他にもいろいろな体験プログラムを
用意しているよ！みんなの学校は何
を体験するのかな？楽しみだね！

【考古博物館】

子供にかかわる相談はここです！

◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 (教育センター相談室)

予約TEL 318-3223 (行徳相談室)

火～土(午前9時～午後5時)

対象：3歳～中学校3年生

子育てや発達等の悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員が保護者との面接相談をしています。

◆ほっとホット訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 (教育センター相談室) 火～金(午後0時30分～午後5時)

TEL 318-3223 (行徳相談室) 木のみ(午後0時30分～午後5時)

対象：小学校1年生～中学校3年生

不登校や子育てについての保護者からの相談を電話で受け付けています。

自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月～金(午前9時～午後5時※木は午後7時)

メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp

対象：小学校1年生～20歳未満

家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談)を受け付けています。

本人からの相談も可能です。

【教育センター】



特別支援学級開設 通級指導教室開設

市川市教育委員会では、特別支援教育推進に係る環境整備のため、市立学校に知的障がいの特別支援学級を27校、自閉症・情緒障がいの特別支援学級を7校開設しています。

近年、個に応じた教育的支援のニーズが高まっていることから、市内の設置バランスを考慮し、令和2年4月より下記の3校に、特別支援学級及び通級指導教室を開設することになりました。

【特別支援学級(知的障がい)】

妙典中学校 所在地：妙典5-22-1

【特別支援学級(自閉症・情緒障がい)】

南行徳中学校 所在地：南行徳2-2-2

【通級指導教室(自閉症・情緒障がい/LD・ADHD)】

信篤小学校 所在地：原木2-16-1



なお、開設に関する問い合わせは義務教育課に、入級に関するご相談は教育センターまでお申し込みください。

○義務教育課 TEL 383-9261 (月～金 午前9時～午後5時)

○教育センター TEL 320-3336 (火～土 午前9時～午後5時)

【義務教育課】

令和2年度 小・中学校の講師募集

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に勤務できる講師等を募集しています。

1 募集職種

(1) 県費講師…臨時的任用講師・非常勤講師

(教員・養護教諭・学校栄養職員・事務職員)

(2) 市費職員…少人数学習等担当補助教員、特別支援学級等補助教員

2 応募方法

義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。

TEL 383-9261

※詳細はWebページをご覧ください。 【義務教育課】

